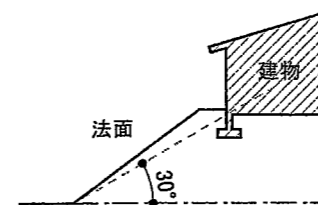


□園庭

建物の中心に園庭を配置し遊具や砂場、緑化スペース、手足洗い場を設けます。年齢差によって運動能力や遊び方の種類が異なるため、年少と年中長の遊び場をエリア分けすることで安全かつ衛生的な屋外環境を創造します。園庭廻りの回廊は日陰をつくりだしてくれるので、運動会では保護者等の観覧席に、また屋外活動時には休憩場所として利用できます。

□法面对策

法面に近接して計画する部分は愛知県条例に基づき、がけの下端から30°のラインより下に基礎底面、もしくは基礎杭を設置し安全に建物を利用できる計画を考えました。



□職員駐車場

建物北側は既存の駐車場のままとする。職員駐車場とする計画なので建設コスト抑えるため舗装等はせず既設のまま利用します。

□回廊テラス（屋根付き）

豊かな感性を育てる環境として、自然に触れることのできる空間を充実させることは有効です。園庭の廻りに設けられた回廊テラスは、内部空間と外部空間を密接につなげる半外部空間として重要な役割を担っており、保育室前に下足入れを設けているので容易に園庭にアクセスすることができます。また、床材はウッドデッキを使用し、回廊の中は2.7mあるので通路としての利用だけでなく、雨の日のちょっとした遊び場として活躍します。

□保育室

自然の中でのびのびと体を動かして遊ぶなど、幼児の興味や関心が屋外へ向くように、全ての保育室を園庭に面して配置しています。また、園庭側の出入口は温かみのある木製の建具にし、両側の壁に引込むことによって全開放して保育室と外部空間のつながりを密接にしています。園庭側の上部には高窓を設け通風や採光を十分に取れるよう配慮しており、また室内には木材や丸太を使用し木造の利点を生かした温かみのある明るく気持ちのよい空間とします。

□管理セクション

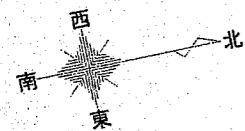
幼児の安全確保を図るため園庭を見渡せる位置とし、来客チェックや不審者進入を早期に防げるように正面玄関に面して配置しています。

□お迎え駐車場

保護者のお迎えがスムーズに出来るように、道路に面して正面玄関の近くに配置しています。お迎えの時間は全面道路の交通量が多くなるため、安全面を考え建物との間に正門へのアプローチ通路を設けています。

□通園バス駐車場

通園のバス駐車場は、保護者のお迎え駐車場の導線が混雑しない位置とし、雨の日でもスムーズに乗降車できるように渡り廊下に接して設けています。



畑

